



2021年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年8月13日

上場会社名 太洋物産株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9941 URL <http://www.taiyo-bussan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柏原 滋
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務部ジェネラル マネージャー (氏名) 宮内 敏雄 TEL 03-5946-8000
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第3四半期の業績 (2020年10月1日～2021年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第3四半期	12,242	6.3	108	—	77	—	72	—
2020年9月期第3四半期	11,507	△19.4	△187	—	△220	—	△222	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第3四半期	54.96	—
2020年9月期第3四半期	△167.48	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期第3四半期	7,581	△82	△1.0	△61.90
2020年9月期	7,601	△158	△2.0	△119.26

(参考) 自己資本 2021年9月期第3四半期 △82百万円 2020年9月期 △158百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年9月期	—	0.00	—	—	—
2021年9月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の業績予想 (2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,051	1.6	70	—	12	—	7	—	5.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年9月期3Q	1,328,219株	2020年9月期	1,328,219株
2021年9月期3Q	753株	2020年9月期	753株
2021年9月期3Q	1,327,466株	2020年9月期3Q	1,327,466株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における経済は、ワクチン接種が進んでいる海外経済が回復傾向を示す中、9都道府県の緊急事態宣言の一時的な解除により、人の流れが戻り感染者が再び増加傾向となり、新たな変異株の動向に懸念材料は残るものの、緩やかに景気が上向いていくものと思われる状況で、当第3四半期末を迎えました。

このような環境の中、当社の主要商品である食肉関連では、牛肉は、海外の産地価格の高騰や、コロナ禍での外食産業の影響も受け、厳しい環境下でありましたが、取扱数量・売上高とも増加させることができました。タイ産加工食品におきましても、居酒屋向けメニューの需要は減少したものの、取扱数量・売上高とも増加することができました。

鶏肉は、牛肉・豚肉の価格高騰の影響を受け、比較的安価な輸入鶏肉の需要が強まり、唐揚ブームもあり、取扱数量・売上高とも増加することができました。農産品は、産地価格の高騰や、現地からの船積み遅れ等が生じたものの、売上高を伸ばすことができました。

また、前期から取引を始めた中国のネット事業者向け商材の販売が順調に推移し、売上高を伸ばすことができました。輸入豚肉も、第2四半期末より取引を始めた欧州産豚肉及び豚肉加工品が順調に推移し始めました。

この結果、当第3四半期累計期間における売上高は122億42百万円(前年同四半期累計期間比6.3%増)、営業利益1億8百万円(前年同四半期累計期間は営業損失1億87百万円)、経常利益77百万円(前年同四半期累計期間は経常損失2億20百万円)、四半期純利益72百万円(前年同四半期累計期間は四半期純損失2億22百万円)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(食料部)

牛肉は、産地価格の高騰や、営業時間短縮等の影響を受けた外食産業の環境は、厳しい状況にありますが、外食産業向けにカナダ産牛肉を提供するなどして取扱数量・売上高とも増加させることができました。タイ産加工食品におきましても、居酒屋向けメニューの需要は減少したものの、外食チェーン店向けの販売を伸ばすことができ、取扱数量・売上高とも増加することができました。鶏肉は、唐揚ブームもあり、牛肉・豚肉の価格高騰の影響を受け、比較的安価な輸入鶏肉の需要が強まったこともあり、取扱数量・売上高とも増加することができました。

この結果、当第3四半期累計期間での売上高は、74億64百万円(前年同四半期累計期間比10.1%増)となりました。

(営業開拓部)

農産品は、産地価格の高騰や、現地からの船積み遅れ等が生じたものの、売上高を伸ばすことができました。また、前期から取引を始めた中国のネット事業者向け商材の販売が順調に推移し、売上高を伸ばすことができました。

この結果、当第3四半期累計期間での売上高は、42億54百万円(前年同四半期累計期間比115.4%増)となりました。

(生活産業部)

輸入豚肉は、一時停止していた豚肉輸入業務を第2四半期末より取引を始め、欧州産豚肉取引が順調に推移し始めました。

この結果、当第3四半期累計期間での売上高は、5億23百万円(前年同四半期累計期間比81.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期累計期間末の資産につきましては、主に商品の減少等により前事業年度末に比べ20百万円減少し、75億81百万円となりました。

負債につきましては、借入金の返済等により、前事業年度末に比べ96百万円減少し、76億63百万円となりました。

純資産につきましては、四半期純利益の計上等により前事業年度末に比べ76百万円増加し、△82百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期の通期業績予想については、新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴う業績への影響が不透明であることから、現段階では2020年11月27日発表の予想数値を据え置いております。今後状況の進展及び事業の進捗を踏まえ、適正かつ合理的な算定が可能となった段階で、修正の必要が生じた場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,470,162	1,416,621
受取手形及び売掛金	2,267,223	3,272,514
商品	2,865,288	2,065,018
その他	402,841	229,745
流動資産合計	7,005,516	6,983,899
固定資産		
有形固定資産	266,890	266,401
無形固定資産	15,021	11,894
投資その他の資産	314,242	319,200
固定資産合計	596,154	597,496
資産合計	7,601,671	7,581,396
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	699,660	706,637
短期借入金	6,501,858	6,280,979
未払費用	283,550	291,279
その他	110,987	215,213
流動負債合計	7,596,057	7,494,111
固定負債		
退職給付引当金	123,066	127,039
その他	40,870	42,419
固定負債合計	163,937	169,459
負債合計	7,759,995	7,663,570
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,344,975	1,344,975
資本剰余金	1,306,916	1,306,916
利益剰余金	△2,807,742	△2,734,777
自己株式	△969	△969
株主資本合計	△156,819	△83,855
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△1,504	1,680
評価・換算差額等合計	△1,504	1,680
純資産合計	△158,323	△82,174
負債純資産合計	7,601,671	7,581,396

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
売上高	11,507,816	12,242,041
売上原価	11,333,400	11,831,876
売上総利益	174,416	410,165
販売費及び一般管理費	362,157	301,866
営業利益又は営業損失(△)	△187,740	108,298
営業外収益		
受取賃貸料	8,566	7,676
投資有価証券売却益	10,801	1,017
為替差益	—	2,929
助成金収入	8,554	6,989
その他	556	2,377
営業外収益合計	28,479	20,990
営業外費用		
支払利息	51,776	44,962
為替差損	1,656	—
その他	7,440	7,269
営業外費用合計	60,873	52,231
経常利益又は経常損失(△)	△220,134	77,057
特別利益		
固定資産売却益	—	16,299
特別利益合計	—	16,299
特別損失		
本社移転費用	—	4,868
特別損失合計	—	4,868
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△220,134	88,488
法人税、住民税及び事業税	1,445	14,716
法人税等調整額	756	807
法人税等合計	2,201	15,524
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△222,335	72,964

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	食料部	営業開拓部	生活産業部	調整額 (注) 1	四半期損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	6,776,037	1,974,978	2,756,800	—	11,507,816
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,776,037	1,974,978	2,756,800	—	11,507,816
セグメント利益又は損失 (△)	△82,261	11,444	12,373	△129,297	△187,740

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△129,297千円は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失 (△) の合計額は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	食料部	営業開拓部	生活産業部	調整額 (注) 1	四半期損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	7,464,323	4,254,672	523,044	—	12,242,041
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,464,323	4,254,672	523,044	—	12,242,041
セグメント利益又は損失 (△)	156,956	80,264	△5,264	△123,657	108,298

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△123,657千円は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失 (△) の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。